

講義名	地域ボランティア実習			授業形態	
担当教員	北村 裕美	開講期・曜日・時間	後期 火曜日 5 時限		
		単位数	1	履修開始年次	3 年生

主題と概要

本科目では、実践的な運動指導力や対人スキルを身につけることを目指して、主に子どもを対象としたスポーツ体験活動を立案し指導を行います。子どもの発達段階を踏まえて、その年齢に応じた運動・スポーツの楽しみ方を考えます。

到達目標

対象者に分かりやすく運動指導することができるようになる。
対象者の様子をよくみ取り、必要な言葉かけや援助をすることができるようになる。
対象者とともに、体を動かす楽しさを共有することができるようになる。

提出課題

振り返りレポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

必要に応じて個別に講評する。

評価の基準

取組状況・・・90%
振り返りレポート・・・10%

履修にあたっての注意・助言他

選別(10分まで)2回で1回欠席とみなし、4回欠席で単位認定しない。
子どもを対象とした学内地域交流イベント(10月ハロウィン、12月クリスマス土曜開催の予定)に参加します。このため、火曜5限以外にも授業として出席いただく必要があります。また、学外での地域イベントへ参加する予定もあり、学外でのイベント参加では交通費が必要な場合があります。詳細は第1回授業時にお知らせします。
イベント運営に参加しない場合は欠席扱いになり、すべてのイベント運営に出席できなかった場合は出席不足となる可能性があります。

教科書

.使用しない。

参考図書

その他

適宜、資料を配布する。

授業計画

- ガイダンス**
予習内容：シラバスを確認し、これまでに学んだストレッチや自重筋トレニングなどを実践する(2時間)
復習内容：ガイダンス説明事項を確認する(2時間)
- アイスブレイク技法の習得 グーバー**
予習内容：アイスブレイクの目的とその方法を確認する(2時間)
復習内容：学習内容を振り返り、指導台本を作る(2時間)
- アイスブレイク技法の習得 茶っば**
予習内容：アイスブレイクの目的とその方法を確認する(2時間)
復習内容：学習内容を振り返り、指導台本を作る(2時間)
- レクリエーションゲームの習得 ラダーゲッター**
予習内容：レクリエーションゲームの種類とその方法を確認する(2時間)
復習内容：学習内容を振り返り、指導台本を作る(2時間)
- レクリエーションゲームの習得 室内ベタソウ**
予習内容：レクリエーションゲームの種類とその方法を確認する(2時間)
復習内容：学習内容を振り返り、指導台本を作る(2時間)
- 実践実習 企画**
予習内容：初年度に対してどのようなレクリエーションゲームがよいか考えておく(1時間)
復習内容：授業内で学んだ企画案を整理し、プログラムを考える(3時間)
- 実践実習 準備**
予習内容：担当したいプログラム候補を選んで練習する(18時間)
復習内容：プログラムに基づき、担当するレクリエーションゲームの指導法を練習する(3時間)
- 実践実習 イベント運営**
予習内容：担当するレクリエーションゲームの指導法を十分に練習する(2時間)
復習内容：運営全体と自分の指導を振り返り、レポートにまとめる(2時間)
- 実践実習 企画**
予習内容：初年度に対してどのようなレクリエーションゲームがよいか考えておく(1時間)
復習内容：授業内で学んだ企画案を整理し、プログラムを考える(3時間)
- 実践実習 準備**
予習内容：担当したいプログラム候補を選んで練習する(18時間)
復習内容：プログラムに基づき、担当するレクリエーションゲームの指導法を練習する(3時間)
- 実践実習 イベント運営**
予習内容：担当するレクリエーションゲームの指導法を十分に練習する(2時間)
復習内容：運営全体と自分の指導を振り返り、レポートにまとめる(2時間)
- まとめ**

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

ロールプレイ

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本演習を通して、健康づくり運動に関する効果的な指導法を身につけることができ、ディプロマポリシーに大きく貢献できる科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

特になし

実務経験の有無及び活用

特になし

備考

特になし